

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

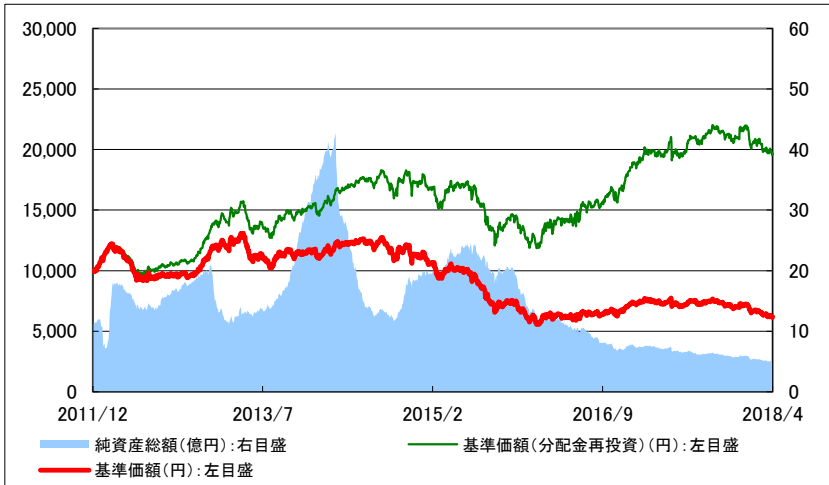
追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

グローバルCBファンド・ブラジルリアルコース(毎月分配型)

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	6,186 円	- 222 円
純資産総額	4.97 億円	- 0.18 億円

期間別騰落率

	騰落率
1か月	-1.91%
3か月	-8.94%
6か月	-7.70%
1年	-0.93%
3年	13.01%
設定来	96.79%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 10,270 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円
2018年	100 円	100 円	100 円	100 円	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額騰落の要因分析

基準価額の月間騰落額		- 222 円
資産要因	CB価格変動	16 円
為替要因	為替取引プレミアム/コスト	22 円
	為替変動 ^(注)	- 151 円
その他	短期金融資産等	- 0 円
	分配金	- 100 円
	信託報酬(概算)	- 9 円

(注)「為替変動」は、基準価額の月間騰落額から、CB価格変動、為替取引プレミアム/コスト、短期金融資産等、分配金、信託報酬(概算)を控除し算出しています。

- ※ 要因分析は、一定の前提に基づいて試算したものであり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
- ※ 為替取引プレミアム/コストについては、短期金利差に基づき算出しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入の際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

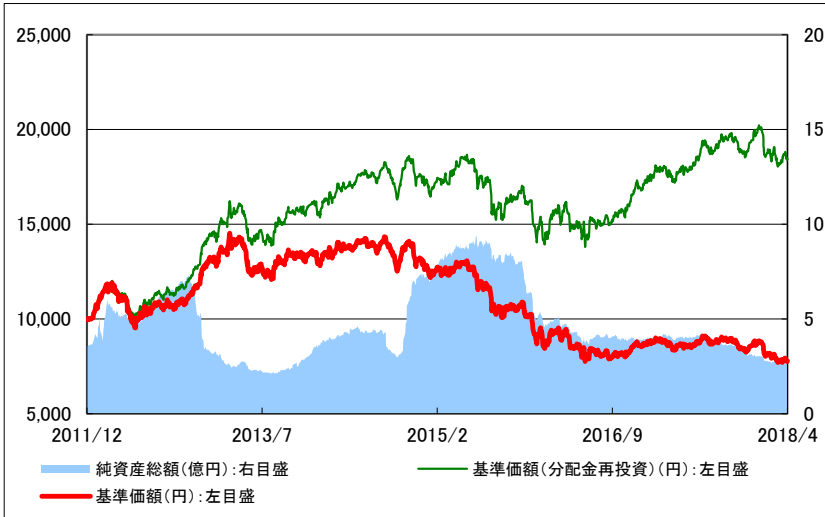
追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

グローバルCBファンド・豪ドルコース(毎月分配型)

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	7,778 円	+ 7 円
純資産総額	2.62 億円	- 0.01 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	1.39%
3ヵ月	-7.41%
6ヵ月	-4.48%
1年	4.75%
3年	0.77%
設定来	84.60%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 9,130 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円
2018年	100 円	100 円	100 円	100 円	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額騰落の要因分析

基準価額の月間騰落額		7 円
資産要因	CB価格変動	19 円
為替要因	為替取引プレミアム/コスト	- 0 円
	為替変動 ^(注)	99 円
その他	短期金融資産等	- 0 円
	分配金	- 100 円
	信託報酬(概算)	- 11 円

(注) 「為替変動」は、基準価額の月間騰落額から、CB価格変動、為替取引プレミアム/コスト、短期金融資産等、分配金、信託報酬(概算)を控除し算出しています。

- ※ 要因分析は、一定の前提に基づいて試算したものであり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
- ※ 為替取引プレミアム/コストについては、短期金利差に基づき算出しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

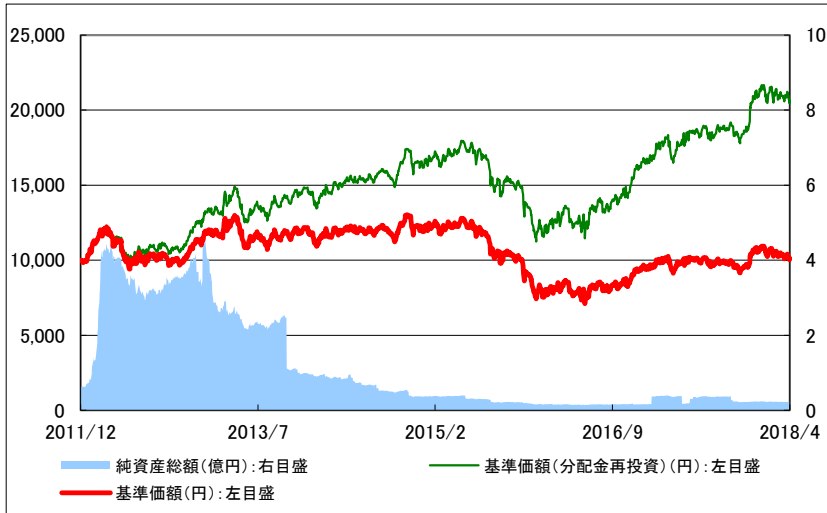
追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

グローバルCBファンド・南アフリカランドコース(毎月分配型)

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	10,122 円	- 255 円
純資産総額	0.22 億円	- 0.01 億円

期間別騰落率

	騰落率
1か月	-1.49%
3か月	-3.41%
6か月	12.31%
1年	16.90%
3年	18.57%
設定来	106.40%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 7,400 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円
2018年	100 円	100 円	100 円	100 円	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額騰落の要因分析

基準価額の月間騰落額		- 255 円
資産要因	CB価格変動	25 円
為替要因	為替取引プレミアム/コスト	36 円
	為替変動 ^(注)	- 202 円
その他	短期金融資産等	- 0 円
	分配金	- 100 円
	信託報酬(概算)	- 14 円

(注)「為替変動」は、基準価額の月間騰落額から、CB価格変動、為替取引プレミアム/コスト、短期金融資産等、分配金、信託報酬(概算)を控除し算出しています。

- ※ 要因分析は、一定の前提に基づいて試算したものであり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
- ※ 為替取引プレミアム/コストについては、短期金利差に基づき算出しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

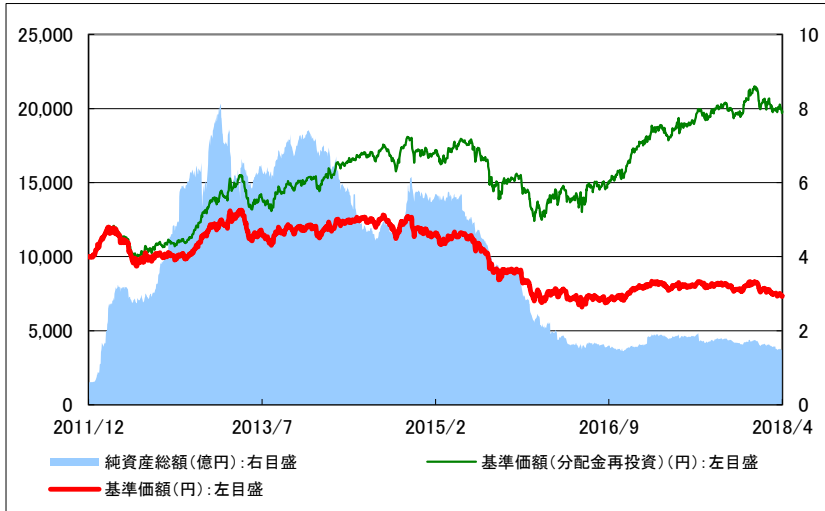
追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

グローバルCBファンド・資源国通貨コース(毎月分配型)

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	7,357 円	- 152 円
純資産総額	1.48 億円	- 0.09 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	-0.69%
3ヵ月	-6.56%
6ヵ月	-0.08%
1年	6.92%
3年	11.52%
設定来	98.21%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 9,460 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円
2018年	100 円	100 円	100 円	100 円	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額騰落の要因分析

基準価額の月間騰落額		- 152 円
資産要因	CB価格変動	18 円
為替要因	為替取引プレミアム/コスト	17 円
	為替変動 ^(注)	- 77 円
その他	短期金融資産等	- 0 円
	分配金	- 100 円
	信託報酬(概算)	- 10 円

(注)「為替変動」は、基準価額の月間騰落額から、CB価格変動、為替取引プレミアム/コスト、短期金融資産等、分配金、信託報酬(概算)を控除し算出しています。

- ※ 要因分析は、一定の前提に基づいて試算したものであり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
- ※ 為替取引プレミアム/コストについては、短期金利差に基づき算出しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

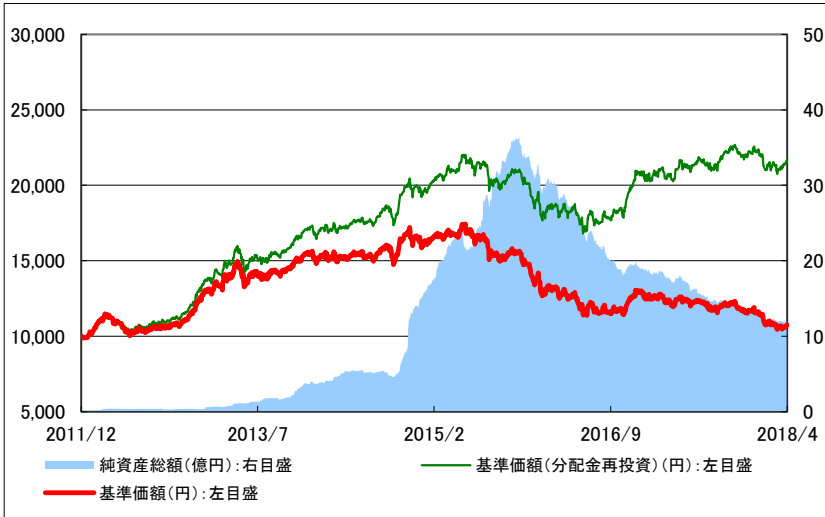
追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

グローバルCBファンド・米ドルコース(毎月分配型)

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	10,758 円	+ 137 円
純資産総額	12.11 億円	+ 0.10 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	2.94%
3ヵ月	-0.88%
6ヵ月	-2.89%
1年	3.24%
3年	3.56%
設定来	117.04%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 9,340 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円	170 円
2018年	170 円	170 円	170 円	170 円	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額騰落の要因分析

基準価額の月間騰落額		137 円
資産要因	CB価格変動	26 円
為替要因	為替取引プレミアム/コスト	-
	為替変動 ^(注)	296 円
その他	短期金融資産等	- 0 円
	分配金	- 170 円
	信託報酬(概算)	- 15 円

(注) 「為替変動」は、基準価額の月間騰落額から、CB価格変動、短期金融資産等、分配金、信託報酬(概算)を控除し算出しています。

- ※ 要因分析は、一定の前提に基づいて試算したものであり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

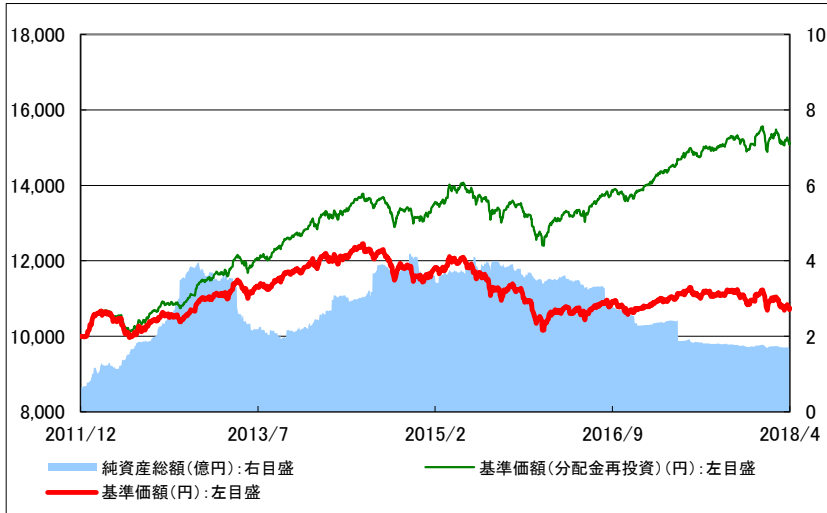
追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

グローバルCBファンド・円コース(毎月分配型)

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	10,745 円	- 73 円
純資産総額	1.70 億円	- 0.02 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	-0.12%
3ヵ月	-1.94%
6ヵ月	-0.54%
1年	2.97%
3年	8.37%
設定来	51.41%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 3,820 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円
2018年	60 円	60 円	60 円	60 円	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額騰落の要因分析

基準価額の月間騰落額		- 73 円
資産要因	CB価格変動 ^(注)	17 円
為替要因	為替ヘッジプレミアム/コスト	- 15 円
	為替変動	-
その他	短期金融資産等	- 0 円
	分配金	- 60 円
	信託報酬(概算)	- 15 円

(注) 「CB価格変動」は、基準価額の月間騰落額から、為替ヘッジプレミアム/コスト、短期金融資産等、分配金、信託報酬(概算)を控除し算出しています。

- ※ 要因分析は、一定の前提に基づいて試算したものであり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
- ※ 為替ヘッジプレミアム/コストについては、短期金利差に基づき算出しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

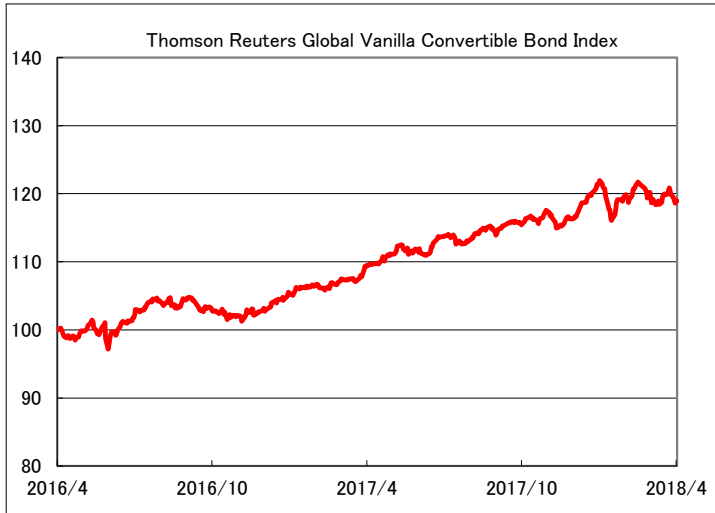
ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

市場の推移

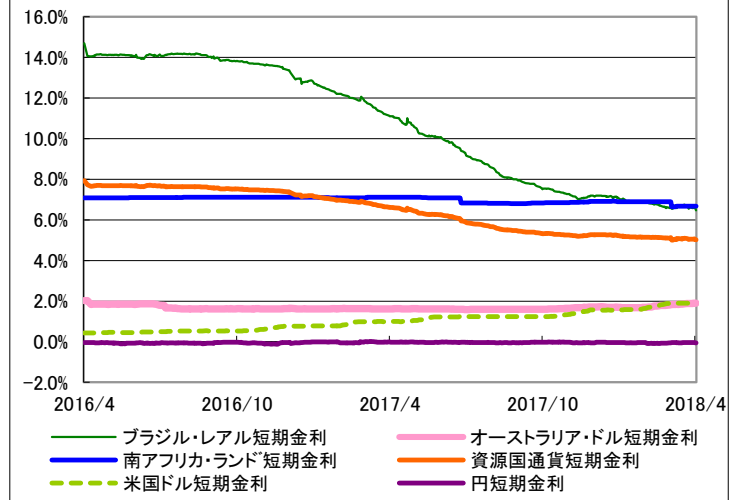


※ データは、2016年4月28日を100として指数化し、作成基準日までを表示しています。

出所: Bloomberg

Thomson Reuters Global Vanilla Convertible Bond IndexはThomson Reutersが公表する世界の転換社債市場の推移を表す指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はThomson Reutersに帰属します。またThomson Reutersは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資対象通貨短期金利(1ヵ月)の推移



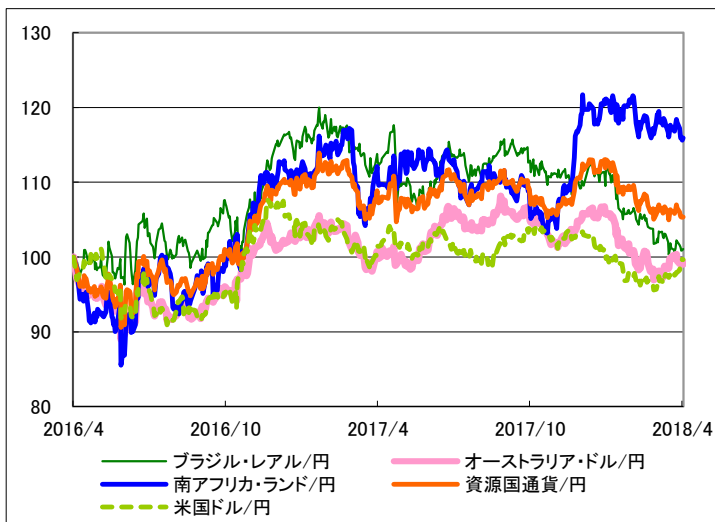
※ データは、2016年4月28日から作成基準日までを表示しています。

※ 短期金利(1ヵ月)は、ブラジル・リアル:T-Bill、オーストラリア・ドル:豪州銀行間取引金利、南アフリカ・ランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート、米国ドル、円:各通貨のLIBORです。

※ 「資源国通貨」とは、ブラジル・リアル、オーストラリア・ドル、南アフリカ・ランドを均等割合で合成したものです。

出所: Bloomberg

為替レートの推移



※ データは、2016年4月28日を100として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 「資源国通貨」とは、ブラジル・リアル、オーストラリア・ドル、南アフリカ・ランドを均等割合で合成したものです。

出所: Bloomberg

為替コメント

4月の各通貨の騰落率は以下の通りです。

ブラジル・リアル ▲2.18%

オーストラリア・ドル 1.16%

南アフリカ・ランド ▲1.78%

米国ドル 2.93%

ブラジル・リアルは、小売売上高などの経済指標が予想を下回ったことを受けて金融緩和が長期化するとの見方が強まったことから、下落しました。

オーストラリア・ドルは、主要輸出先である中国と米国間の貿易摩擦に対する過度な警戒感が後退したことや、豪小売売上高が予想を上回ったことなどから上昇しました。

南アフリカ・ランドは、米長期金利の上昇を受け、南アフリカ・ランドを含めた高金利通貨が全般的に売られる展開となり、下落しました。

米国ドルは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことや米長期金利が上昇したことを背景に上昇しました。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

SMT グローバルCBファンドの資産の状況

特性値

組入比率	97.18 %
直接利回り	1.49 %
最終利回り	-4.81 %
デルタ ^{※1}	0.44
デュレーション ^{※2}	1.92 年
格付 ^{※3}	A-
銘柄数	113

※1 CB価格と株価の連動性を示しており、この値が高いほど株価との連動性が高くなります。

※2 債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※3 「SMT グローバルCBファンド」が保有している有価証券に係る信用格付であり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※ 各特性値は、純資産総額に対する値です。

※ 利回り(税引前)は、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

格付別構成比

AAA	1.60%
AA	27.41%
A	15.72%
BBB	34.40%
BB	14.79%
B	5.45%
CCC	0.00%
CC	0.28%
C	0.36%

※ 格付は、S&Pの分類に準拠(格付の無い銘柄についてはインプライド・レーティングを採用)しています。インプライド・レーティングとは、格付機関から格付が付与されていないCBに関し、当該CBの信用スプレッド(国債との利回り格差等)を基に、その信用スプレッドの類似債券の格付から推測した格付のことです。

※ 対現物債券構成比です。

組入上位5カ国・地域

	国・地域	比率
1	米国	37.97%
2	日本	11.41%
3	中国	9.55%
4	ドイツ	7.50%
5	英国	5.93%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5業種

	業種	比率
1	銀行/金融	13.85%
2	電機	11.85%
3	不動産	11.23%
4	医薬品	7.21%
5	情報技術	5.46%

※ 対純資産総額比です。

※ 業種分類は、運用会社の定義に基づきます。

組入上位5銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	Wells Fargo / Wachovia \$75 Perp	米国	銀行/金融	2.08%
2	Microchip Technology 1.625% 2025	米国	電機	1.75%
3	NXP Semiconductors 1% 2019	米国	電機	1.72%
4	Bangkok Dusit Medical 0% 2019	タイ	医薬品	1.68%
5	UniCredit (Aabar) 1% 2022	イタリア	銀行/金融	1.56%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と今後の見通し

【市場動向】

4月のCB市場は、グローバル株式市場が上昇したものの、欧米を中心に金利が上昇傾向となったことなどがマイナスに影響し、概ね横ばいとなりました。月序盤は、米中貿易摩擦やシリアをめぐる地政学リスクへの懸念などが重石となっており、中盤には、中国市場が市場開放拡大方針を表明したことが好感されて株式市場が上昇すると、CB市場も上昇しました。しかしながら、月下旬、欧米金利が上昇したことでCB市場は下落に転じました。

【今後の見通し】

株式市場については、米国株式はもみ合う展開が予想されます。2018年1-3月期の米企業収益は概ね予想を上回る好調な結果が続いていますが、米長期金利動向や貿易交渉をめぐる不透明感などが引き続き投資家心理の重石になると見られ、米景気の金利上昇への耐久力や、原油価格動向、米中貿易交渉の進捗などを慎重に見極める展開が続くと思われます。欧州株式は上値余地を探る展開が想定されます。インフレの落ち着きを背景に、ECB(欧州中央銀行)が量的金融緩和の出口戦略に慎重姿勢を強めるとの観測が、欧州株式の追い風となっており、加えて、ユーロ高が後退する中、相対的な割安感のある欧州株式は選好されやすいと見えています。ただし、イタリアの政局や中東など地政学リスクが投資家心理の悪化に繋がるリスクについては注意が必要です。金利動向については、米国の保護貿易主義に対する警戒感などから、短期的には米国、欧州ともに金利の上昇しにくい展開が想定されますが、長期的には緩やかな上昇基調をたどると見込まれます。米国では、コア個人消費支出の緩やかな伸びなどから当局は利上げを慎重に進める見通しですが、今後の利上げや債券償還資金の再投資の縮小が意識されるにつれ、金利は緩やかに上昇すると予想されます。欧州でも、ECBによる量的金融緩和の縮小策やその後の利上げが意識されるにつれ、金利は緩やかに上昇すると予想されます。CB市場は、概ね妥当な水準で推移していると考えられ、CBへの継続的な投資需要が引き続き市場を下支えすると予想されます。一方で、CBの償還が少ない中で新規発行量の増加が予想されており、これが市場の重石となる可能性には留意が必要と思われます。こうした環境下、今後もファンドの特色に沿った運用を行ってまいります。

※ 「SMT グローバルCBファンド」の資産内容は、委託会社がUBS AG、UBSアセット・マネジメント(チューリッヒ)からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

ファンドの特色

1. 主として、「SMT グローバルCBファンド」への投資を通じて、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)を投資対象とし、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
2. 通貨が異なる6つのコースがあります。
3. 投資先ファンドは、UBSグループにおいて資産運用業務を担うUBS AG、UBSアセット・マネジメント(チューリッヒ)が運用を行います。
4. 原則として、毎決算時(年12回)に収益の分配を目指します。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
従って、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様には帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【為替変動リスク】

「ブラジルリアルコース、豪ドルコース、南アフリカランドコース、資源国通貨コース」

ファンドが主に投資する外国投資信託の組入資産(米ドル建)について、原則として米ドル売り各コースの対象通貨買いの為替取引を行いますので、当該通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

「米ドルコース」

ファンドが主に投資する外国投資信託の組入資産(米ドル建)について、為替取引は行いません。従って、米ドルに対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

「円コース」

ファンドが主に投資する外国投資信託の組入資産(米ドル建)について、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

ただし、上記の各コース(米ドルコースを除く)とも、上記の為替取引・為替ヘッジにより米ドルの為替変動の影響を完全に排除することはできませんので、米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替取引・為替ヘッジを行う各コースの対象通貨の短期金利が米ドル短期金利より低い場合には、当該通貨と米ドルの金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

【転換社債(CB)の価格変動リスク】

転換社債等の価格は、転換等の対象となる株式の価格変動や金利変動、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動し、基準価額の変動要因となります。また、特に格付の低い転換社債において元利金の支払い遅延や債務不履行等が生じた場合には、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 新興国通貨に対して為替取引を行う場合、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該対象通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(信託財産留保額の控除はありません。)
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 購入・換金 … 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。
申込受付不可日
ニューヨークの取引所の休業日
ロンドンの取引所の休業日
ニューヨークの銀行休業日
ロンドンの銀行休業日
チューリッヒの銀行休業日
- 換金制限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付の中止及び取消し … 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
- 信託期間 … 原則として、2011年12月28日(設定日)から2021年12月10日までとします。
- 繰上償還 … 委託会社は、主要投資対象とする円建外国投資信託が償還されることとなった場合、その円建外国投資信託に投資を行っているファンドを解約し、信託を終了(繰上償還)させます。
次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・各ファンドの受益権口数の合計が40億口を下回ることとなった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎月10日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 … 原則として、毎決算時(年12回)に収益の分配を目指します。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
- スイッチング … 「グローバルCBファンド」及び「グローバルCBファンド(年1回決算型)」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。
スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.78%(税抜3.5%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して**年率1.0368%(税抜0.96%)**

■ 投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して年率0.84%程度(税抜0.84%程度)

■ 実質的な負担

純資産総額に対して**年率1.8768%程度(税抜1.8%程度)**

主要投資対象とする円建外国投資信託の信託報酬等には、年間最低報酬額が定められている場合があり、純資産総額等によっては年率換算で上記を上回る場合があります。ただし、この値は目安であり、投資対象投資信託証券の実際の組入れ状況により変動します。

■ その他の費用・手数料

監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

追加型投信 / 内外 / 債券

当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

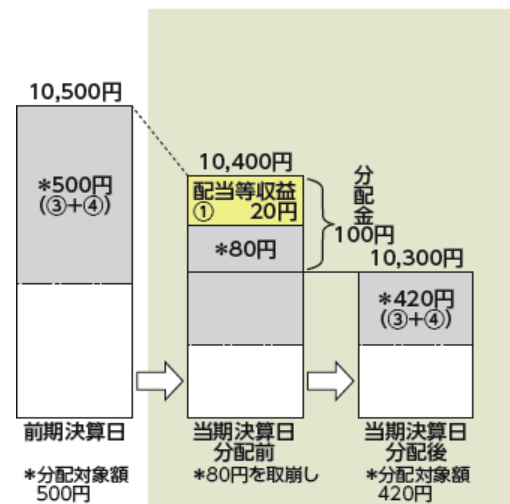
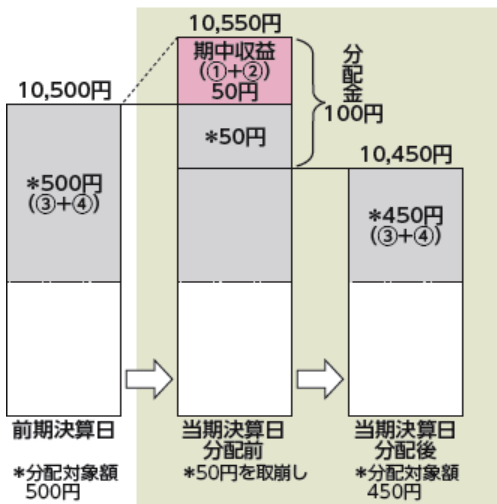


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)

(前期決算日から基準価額が下落した場合)



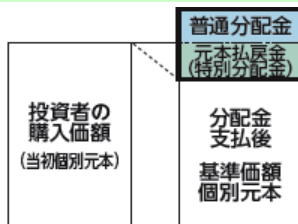
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益並びに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆あるいは保証するものではありませんのでご注意ください。

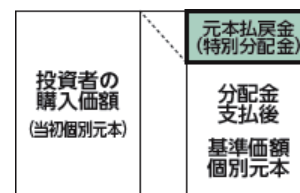
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※ 元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

グローバルCBファンド(毎月分配型)

ブラジルリアルコース / 豪ドルコース / 南アフリカランドコース / 資源国通貨コース / 米ドルコース / 円コース

追加型投信 / 内外 / 債券

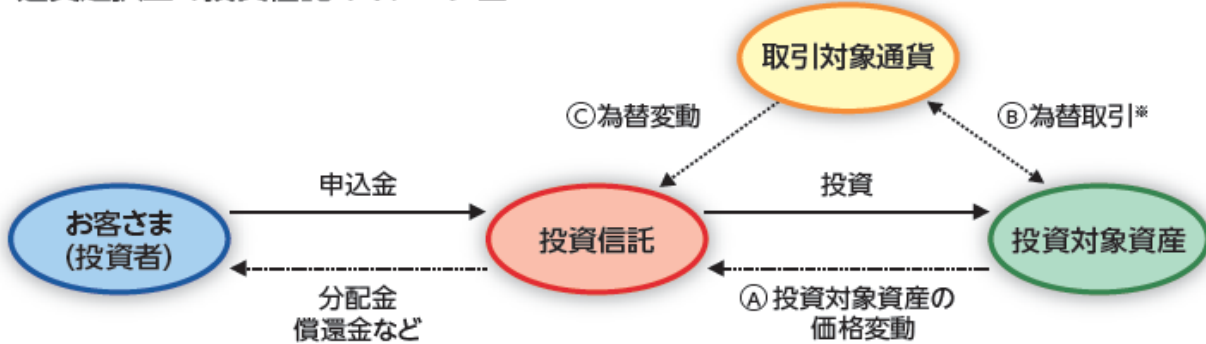
当初設定日 : 2011年12月28日

作成基準日 : 2018年4月27日

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計された投資信託です。

<通貨選択型の投資信託のイメージ図>



※ 取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- * <ブラジルリアルコース>、<豪ドルコース>、<南アフリカランドコース>、<資源国通貨コース>では、投資対象資産(米ドル建て)について、原則として対取引対象通貨での⑥為替取引(米ドル売り・取引対象通貨買い)を行います。従って、取引対象通貨/円の⑦為替変動に伴うリスクを負います。
- * <米ドルコース>では、投資対象資産(米ドル建て)について、原則として⑥為替取引は行いません。従って、米ドル/円の⑦為替変動に伴うリスクを負います。
- * <円コース>では、投資対象資産(米ドル建て)について、原則として対円での為替ヘッジ(米ドル売り・円買い)を行い、米ドル/円の⑦為替変動に伴うリスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。

	(A)	(B)	(C)
<ブラジルリアルコース>、<豪ドルコース>、<南アフリカランドコース>、<資源国通貨コース>	CBの利子収入、 値上がり/値下がり	為替取引による プレミアム/コスト	為替差益/差損
<米ドルコース>	CBの利子収入、 値上がり/値下がり	-	為替差益/差損
<円コース>	CBの利子収入、 値上がり/値下がり	為替ヘッジによる プレミアム/コスト(注)	-

	(A)	(B)	(C)
収益を得られるケース	・金利の低下 ・発行体の信用状況の改善 ・転換等対象株式の株価の上昇等 CB価格の上昇	・取引対象通貨の短期金利 >米ドルの短期金利 プレミアム(金利差相当分の収益)の発生	・円に対して 取引対象通貨高 為替差益の発生
損失やコストが発生するケース	・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化 ・転換等対象株式の株価の下落等 CB価格の下落	・取引対象通貨の短期金利 <米ドルの短期金利 コスト(金利差相当分の費用)の発生	・円に対して 取引対象通貨安 為替差損の発生

※<米ドルコース>を除きます。

※<円コース>を除きます。

(注) 円コースのように、為替ヘッジを行うコースの取引対象通貨の短期金利が米ドル短期金利より低い場合には、当該取引対象通貨と米ドルとの金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご注意ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。